

感情とリアリズム

〔公開シンポジウム〕

文学と歴史学の対話

● 発表者 ●

森田 直子 (ドイツ史 / 上智大学)

「決闘／決闘試合にみる近代ドイツの若者の感情 — T. シュトルムの作品を手がかりに」

舘 葉月 (フランス史 / 慶應義塾大学)

「赤十字運動創設者のリアリズムと感情喚起 — アンリ・デュナン『ソルフェリーノの思い出』(1862)を読む」

富田 広樹 (スペイン文学 / 北九州市立大学)

「劇場で、激情を — 新古典演劇における真実らしさと感情をめぐって」

大石 和欣 (イギリス文学 / 東京大学)

「共感のリアリズム — ギヤスケル小説における心性と感情の史的考察」

● コメンテーター ●

小倉 孝誠 (フランス文学 / 慶應義塾大学)

● 司会 ●

野田 農 (フランス文学 / 早稲田大学)

霜田 洋祐 (イタリア文学 / 大阪大学)

2024年1月27日 [土]

13:00 – 18:00

慶應義塾大学 日吉キャンパス
来往舎1階 シンポジウム・スペース

対面 + zoom 開催 (参加無料)

★ 事前申込の方には zoom アドレスをご案内します。
2024年1月20日(土)までに下記フォームよりお申込みください:

<https://forms.gle/JHBwUgYcQcXoYRv76>

★ 対面参加は事前申込なしでも可能ですが、
できるかぎり事前申込にご協力ください。



科研費
KAKENHI

主催: リアリズム文学研究会

+ 科学研究費 (基盤 C: 23K00447) 「西洋近代文学の〈リアリズムの文法〉に関する語圏横断的アプローチによる実証的研究」 (野田農, 石川大智, 霜田洋祐, 西尾宇広)

お問い合わせ: リアリズム文学研究会事務局 (realisminliterature@gmail.com)

表絵：Briton Rivière, *Sympathy* (1878)
 裏絵：Francisco de Goya, *El 3 de mayo en Madrid* (1814), Fritz von Uhde, *Lasset die Kindlein zu mir kommen* (1884)

● プログラム ●

- 12:30 開場
- 《司会》野田農 (フランス文学)
- 【開会挨拶・趣旨説明】野田農 (フランス文学) 13:00 - 13:10
- 【第一発表】森田直子 (ドイツ史) 13:10 - 13:50
- 「決闘／決闘試合にみる近代ドイツの若者の感情 — T. シュトルムの作品を手がかりに」
- 【第二発表】舘葉月 (フランス史) 13:55 - 14:35
- 「赤十字運動創設者のリアリズムと感情喚起 — アンリ・デュナン『ソルフェリーノの思い出』(1862)を読む」
- 【休憩】

- 参加希望の方は、本チラシ表面記載のフォームよりお申込みください (2024年1月20日[土]締切)。折り返し受理確認のメールが自動送信されます。
- 対面参加の方も含め、事前申し込まれた方には ZOOM ミーティング情報 (ミーティング ID、パスコード)、各種資料・パスワード等をご案内します。フォームにご記入いただいたメールアドレス宛に、本研究会事務局より、開催前日までに必要な情報をお送りします。
- ZOOM ミーティング情報等が不特定多数へ流出しないよう、情報の取り扱いにはくれぐれもご注意ください。

- 14:45 - 15:25 【第三発表】富田広樹 (スペイン文学)
 「劇場で、激情を — 新古典演劇における真実らしさと感情をめぐって」
- 15:30 - 16:10 【第四発表】大石和欣 (イギリス文学)
 「共感のリアリズム — ギヤスケル小説における心性と感情の史的考察」
- 【休憩】
- 16:20 - 16:40 【コメント】小倉孝誠 (フランス文学)
- 16:40 - 18:00 【全体討論】《司会》霜田洋祐 (イタリア文学)

● 交通アクセス ●

